# 2021度 事業報告書

## 2021年4月1日～2022年3月31日

BUSINESS DEVELOPMENT ORGANIZATION

一般社団法人CSV開発機構

# 目次


| | |
|---|---|
| １．法人概要 | Ｐ ２ |
| ２．年間活動一覧 | Ｐ ５ |
| ３．主要活動 | P10 |
| ４．会員企業協働事業 | P14 |
| ５．幸せ分科会アンケート結果 | P35 |


Copyright　Japan CSV Business Development Organization

**一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的**

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的としています。

新たな価値観に基づく社会の創出や、生活者のQOLの向上を目指し、産官学民の連携による新しいビジネスモデルの構築とその事業化に向け、プラットフォーマーとなり、アライアンスパートナーの構築やオープンイノベーション推進など、総合的なご支援いたします。

**役員　（2021年6月1日現在）**

| | | |
|---|---|---|
| 理事長 | 赤池　学 | |
| 副理事長 | 水上　武彦 | |
| 専務理事 | 小寺　徹 | |
| 理　事 | 加藤　薫 | （ヤマハ発動機株式会社） |
| | 長谷部　直人 | （東京書籍株式会社） |
| | 森田　俊作 | （大和リース株式会社） |
| | 小谷野　圭司 | （日本ユニシス株式会社）＊BIPROGY株式会社 |
| | 毛利　直俊 | （株式会社ジェイティービー） |
| 事務局長 | 石井　玲子 | |
| 監　事 | 杉本　貴一 | （住友林業株式会社） |
| 顧　問 | 渋澤　寿一 | |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

**会員（2021年8月3日現在）**

（一般会員）

コドモエナジー株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
株式会社鈴三材木店
株式会社DGコミュニケーションズ
東京書籍株式会社
ニチハ株式会社
日本ユニシス株式会社（現 BIPROGY株式会社）
ブルー・ブリッジ・パートナーズ株式会社
株式会社サーベイリサーチセンター
株式会社ＪＴＢ
住友林業株式会社
大和リース株式会社
株式会社電通
株式会社冨山
日揮グローバル株式会社
農林中央金庫
ヤマハ発動機株式会社

（特別会員）

青森県庁
弘前市
静岡市
浜松市
名古屋市（東京事務所）
大阪府（公民戦略連携デスク）
千葉商科大学
大東文化大学経営研究所
特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

**事業内容**

① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
③ CSVに関わる調査研究事業
④ CSVに関わるコンサルティング事業
⑤ CSVに関わる受託事業
⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
⑨ CSVによる社会解題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

**2021年**

| | | |
|---|---|---|
| 04月 | [機構運営] | CSV開発機構設立記念日（2日） |
| | [機構運営] | ワーケーションPJT（5日）　＊WEB |
| | [官民連携] | 内閣府地方創生打合せ（14日） |
| | [機構運営] | ワーケーションPJT（14日）　＊WEB |
| | [機構運営] | 飯能青年会議所CSV勉強会（小寺専務理事）（15日） |
| | [機構運営] | 理事会（21日）＊WEB |
| | [官民連携] | 内閣府ふるさと納税企業版打合せ（28日） |
| 05月 | [官民連携] | 川崎市内事業者木質化勉強会（13日） |
| | [官民連携] | 公園PFI現地視察会（19日） |
| | [官民連携] | 佐渡市官民連携意見交換（小寺専務理事）（21日） |
| | [機構運営] | 定時社員総会及び理事会（26日）＊WEB |
| 06月 | [官民連携] | 川崎市木造木質事例視察会（2日） |
| | [講演] | あおもり創生パートナーズCSV勉強会（小寺専務理事）（11日） |
| | [機構運営] | 新潟県立自然科学館展示更新打合せ（24-25日） |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# 2．年間活動一覧

| | | |
|---|---|---|
| 07月 | [官民連携] | 木質化検討事業者ワークショップ（5日） |
| | [官民連携] | 公共建築物木質化勉強会（7日） |
| | [官民連携] | JR駅舎活用勉強会（8日） |
| | [講演] | 飯能青年会議所講演会（小寺専務理事）（15日） |
| | [機構運営] | 陸上養殖現場視察会（21日） |
| | [機構運営] | サーキュラーバイオエコノミー分科会打合せ（25日） |
| 08月 | [官民連携] | JR駅舎活用勉強会（4日） |
| | [官民連携] | 越前浜活用意見交換会・現地視察会（7日-8日） |
| | [官民連携] | 森の恵みに出会う旅in小田原（14日）＊緊急事態宣言発出により中止 |
| | [機構運営] | サーキュラーバイオエコノミー分科会打合せ（31日） |
| 9月 | [機構運営] | 地域をつなげる事業価値の組立て方監修（1日） |
| | [官民連携] | 矢祭町コミュニティカ事業　モニターツアー（10日-11日） |
| | [機構運営] | 理事会（24日）＊WEB |
| | [官民連携] | 川崎市カーボンゼロチャレンジ　庁内横断会議（30日） |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# 2．年間活動一覧

| | | |
|---|---|---|
| 10月 | [機構運営] | ホームページ全面刷新　https導入（4日） |
| | [官民連携] | 林産資源を活用したまちづくり打合せ　青森県（4日） |
| | [官民連携] | 林産資源を活用したまちづくり打合せ　飯能市（5日） |
| | [官民連携] | 公共建築物木質化勉強会（7日） |
| | [機構運営] | 新潟県立自然科学館 Pop up School事業（17日） |
| | [機構運営] | 臨時理事会（18日）＊WEB |
| | [官民連携] | 未来まちづくりフォーラム実行委員会（20日） |
| | [官民連携] | 林産資源を活用したまちづくり打合せ　磐田市（26日） |
| | [官民連携] | 川崎市カーボンゼロチャレンジ　庁内横断会議（29日） |
| 11月 | [官民連携] | 新潟県立自然科学館「スマホでかがくかん」実証事業（1日-29日） |
| | [官民連携] | とちぎのいい木現地視察会（4日-5日） |
| | [機構運営] | 新潟県立自然科学館メディア取材（高松副館長）（5日） |
| | [機構運営] | 「企業戦略の転換」インタビュー（水上副理事長・小寺専務理事）（10日） |
| | [セッション] | コロナ禍におけるまちづくりのあり方を考える（10日）＊WEB |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

| | | |
|---|---|---|
| 12月 | [官民連携] | 優しい木のひろば　川崎市協働（11日） |
| | [官民連携] | おもてなし料理教室　オレンジページ協働（12日） |
| | [セッション] | 地域循環社会創出を目指す企業連携の姿を探る（14日）＊WEB |
| | [機構運営] | 理事会（16日）＊WEB |
| | [機構運営] | 未来まちづくりフォーラムインタビュー（小寺専務理事）（20日） |

**2022年**

| | | |
|---|---|---|
| 01月 | [機構運営] | 矢祭ふるさと会勉強会（小寺専務理事）（15日） |
| | [機構運営] | 「企業戦略の転換」意見交換（水上副理事長・小寺専務理事）(19日) |
| 02月 | [機構運営] | 「大人の科学館(仮称)」発起人会（3日） |
| | [機構運営] | 総務省関係人口連続セミナー2021（小寺専務理事）（8日）＊WEB |
| | [機構運営] | 平間小学校木材利用出前授業（石井事務局長）（9日） |
| | [機構運営] | 平間小学校木材利用出前授業（石井事務局長）（14日） |
| | [機構運営] | 田舎料理教室（jeki x オレンジページ）（18日） |
| | [機構運営] | 平間小学校木材利用出前授業（石井事務局長）（18日） |
| | [機構運営] | Well-Beingビジネス意見交換会（慶應大学x日揮）（21日） |
| | [機構運営] | 未来まちづくりフォーラム（後援）（25日） |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# 2．年間活動一覧

| | | |
|---|---|---|
| 03月 | [官民連携] | 川崎市木材活用セミナー　川崎市協働（15日） |
| | [機構運営] | 理事会（16日）＊WEB |
| | [機構運営] | 田舎料理教室（jeki x オレンジページ）（18日） |
| | [講演] | 一戸町　林産資源活用のまちづくり（小寺専務理事）(19日) |
| | [セッション] | 脱炭素時代の新しいまちづくりを考える　共催：川崎市（23日）＊WEB |
| | [官民連携] | 東舘駅舎コミュニティスペースプレオープン（JR東日本 x 矢祭町）（24日） |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# 3．主要活動状況：全体セッション

今年からセッションの構成を2部構成とし、前半は現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘、後半は会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探るため、会員企業のCSVに関する取組みやシーズや課題などについての発表・情報共有を行うなど、ディスカッションの時間としました。

今年度はコロナ感染症感染対策の一環でZOOMを用いたリモート形式にて、３回開催準備を進めています。

**○全体セッション　　テーマ／ゲストスピーカー/参加人数**

| | |
|---|---|
| **コロナ禍における<br>まちづくりのありかた**<br><br>2021年11月10日(水) | 人間（じんかん）の価値観調査（ポストコロナの幸せな社会のためのアンケート調査）から鑑みる今後のまちづくりのあり方～<br><br>一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所　所長　藤山 浩様<br>株式会社サーベイリサーチセンター　執行役員　一杉 浩史様 |
| **地域循環社会創出を<br>目指す企業連携の創出**<br><br>2021年12月14日(火) | 地域金融機関からみた大企業と地域企業の新たな連携<br><br>あおもり創生パートナーズ株式会社　代表取締役　越田 健一様<br>多摩大学 経営情報学部 事業構想学科　長島 剛様 |
| **地域循環型社会の構築**<br><br>2022年3月23日(水)<br>＊共催：川崎市 | 脱炭素時代の新しいまちづくりを考える<br>～まちの構造を見直し、脱炭素社会を楽しく実現する～<br>東京大学 大学院 農学生命科学研究科 五十嵐 圭日子教授<br><br>☆川崎市の取組発表<br>環境局・経済労働局・建設緑政局・まちづくり局 |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

## 第1回　「コロナ禍におけるまちづくりのありかた」

2021年11月10日(水) / 15:00-17:00 / WEB開催

講演1
「地元から世界を創り直す～『循環自治区』の必要性と重層的な循環圏構想」

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所　所長　藤山 浩様

講演２
「人間(じんかん)の価値観調査」
～ポストコロナの幸せな社会のためのアンケート調査報告

株式会社サーベイリサーチセンター　執行役員　一杉 浩史様

事務局
「コロナ禍における新しいまちづくりのあり方」
～「生き方・働き方」をCSV視点でデザインする～

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

**第2回　「地域循環社会創出を目指す企業連携の創出」**

2021年12月14日(火) / 15:00-17:00 / WEB開催（Zoom）

講演１
「地域金融機関の非金融分野への挑戦」

あおもり創生パートナーズ株式会社　代表取締役社長 越田 健一 様

講演２
「地域で雑談する」
～2021年11月～12月の訪問先から～

多摩大学 経営情報学部 事業構想学科　教授 長島 剛 様

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

**第3回　「地域循環型社会の構築」　＊共催：川崎市**

2022年3月23日(水) / 15:00-17:00 / Zoom Webinar

講演１
「まちの構造を見直し、脱炭素社会を楽しく実現する 」

東京大学大学院 農学生命科学研究科 五十嵐 圭日子教授

講演２　「川崎市の取組発表」
「脱炭素化に向けた川崎市の取組」
環境局 地球環境推進室 協働推進・国際環境施策担当 五十嵐美保子担当課長

「川崎市のグリーンイノベーション・オープンイノベーションの取組」
経済労働局 国際経済推進室 グリーンイノベーション担当 野村有紀子担当課長

「全国都市緑化かわさきフェアについて」
建設緑政局 緑政部 緑化フェア推進担当 藤島直人担当課長

「脱炭素社会の実現に向けた木材利用促進に関する取組」
まちづくり局 総務部 企画課 塚田雄也課長

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

## １．福島県矢祭町：まちなかコミュニティカ向上事業

協働企業：
＊JR東日本企画様
＊日本ユニシス様

事業の目的：
中山間地の「まちなか」が抱える諸課題を、地域内外のつながり（＝コミュニティカ）を活かして解決していくことが出来るように、課題の発掘から解決までを総合的にコーディネートしていく仕組みの構築について検討を行い、まちなかの活性化につなげる。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

協働企業：
＊JR東日本企画様（オレンジページ様）

事業の目的：
矢祭町ならではのおもてなし（もったいない精神）を読者モニターに体験いただく。
調理後に一切ゴミが出ない、再利用等３Rを日常の暮らしで実践する生き方暮らし方が
「SDGs時代の最先端の暮らし方」の評価をいただき、オレンジページで特集いただく。
＊掲載内容は次ページ(本誌発売は1月17日)

東舘駅での歓迎風景

調理風景、一緒に手伝い

矢祭野菜てんこもり～秋の膳～

矢祭の暮らしを体感

田舎体験、大先輩のお話は
目からうろこの話ばかり

収穫体験、自分の食べ物は
自分で作る

Copyright Japan CSV Business Development Organization

# お母さんたちに自然と根づく 矢祭町の「もったいない」暮らし方に注目!!

「東北の勝手口」として親しまれている福島県・矢祭町。里山風景が色濃く残るこの町の魅力は、地元の人々が守りつづけている昔ながらの「もったいない」暮らしです。この「もったいない」を体験すべく、食育に関心を寄せる子育て真っ最中の読者モニターのみなさんとともに矢祭町を訪ねました。

撮影／岡村智明　文／高橋奈美乃(フリート)　デザイン／鈴木 暁

## 矢祭町の最大の魅力。それは当たり前の暮らしが、SDGsにつながっていること

ここ矢祭町が力を入れている取り組みは、農家に宿泊して自然を体験する「里山体験プラン」。「子どもに体験させたい」「親子で参加したい」と子育て世代や教育施設からも人気のプランです。今回「オレンジページ」が体験したのは、その里山体験の一部。里山での郷土料理見学、民家での野菜収穫体験、地元のおばあちゃんのきものリメイク術レクチャーなど、じつに盛りだくさんな内容となりました。

体験中は、それはもう驚きの連続。農薬を使用せずとも大きく美しく実ったゆずを収穫し、野菜の皮や余り野菜の活用法を教えてもらい、地場の作物で作る郷土料理をいただくなど、地域に根づいた古きよき暮らしの知恵に次々と出会うことができました。そこで感じたのは、この町のお母さんたちの日常こそ今話題のSDGsの本質なのではないか、ということ。一方でお母さんたちは、「SDGs? ピンとこないけど、昔からの暮らしは自然も人も守ってくれるからそれを続けているだけよ」とはにかんだ笑顔。しかし、枯れ葉や鶏糞などを利用した堆肥作りや野菜を使いきる調理法など、どこをとってもサステナブルなのです。

息をするかのように「もったいない」暮らしを続けている矢祭町のお母さんたち。次世代の若者たちに、自然と共存しながら生活することの素晴らしさをそれとなく教えてくれているのですね。

20～60代のスタッフが集まる調理室。和気あいあいと楽しそうな笑い声が飛び交います。この日は、矢祭町の新作グルメ「柚子蜜ようかん」の開発も進められていました。近日発売予定です。

## おもてなしが満載！ 矢祭野菜てんこもり～秋の膳～

### 地元の素材を満喫できる手作りお膳

矢祭町の魅力といえば、自然の力で育った野菜を使った郷土料理。そこで今回は、「矢祭野菜てんこもり～秋の膳～」をいただきました。こちらのお料理は、矢祭町の食文化を守りつづける地元のお母さんたちが地域の魅力を全国に発信するために研究開発して誕生したメニューです。

お膳は、巻きずし、酢のもの、きんぴら、刺し身こんにゃく、余りもの野菜の含め煮等、地元の素材を盛り込んだ昔ながらの料理が全13種。もちろんすべて手作りです。なかでも特筆すべきは巻きずしの大きさ！「お祭りやお祝い事でふるまうものだから太っ腹の大きさなのよ。甘さもしっかりめ。甘いものって、心を幸せにしてくれるでしょ？」とお母さん。食料が豊かではなかった時代、米や砂糖をたくさん食べることは何よりのごちそうだったから。そんな太巻きの味つけや大きさの由来も教えていただき、あらためて豊かな食文化に感謝する機会となりました。

矢祭町の特産品のゆずやこんにゃく料理も盛り込まれたぜいたくなお膳。しょうゆ、砂糖、酒など昔ながらの調味料の味つけは、まさにお母さんの味。手前の平皿にのっているのが、矢祭町の太っ腹を示す太巻き。

## 家で野菜を収穫して食べるという田舎ならではのぜいたくを体験

兼業農家であるご夫婦のお宅で収穫体験です。専業農家ではないにもかかわらず、所有農地面積はなんと50アール（5000平米）。玄関を入ると広いたたき。そして、そのすぐ向こうには掘りごたつのある居間が。「このあたりの古い家は、みんなこういうつくりなの。訪れたお客さまがすぐにくつろげるように、というおもてなしね」とお母さん。

日当たり抜群の恵まれた田畑で育てられているのは、白菜、ねぎ、大根、かぼちゃ等。根菜類は土の上で寝ている葉が起き上がってきたころが収穫のベストタイミングだそう。ほかにも、収穫のコツや枯れ葉や鶏糞などでの堆肥作り、野菜作りに欠かせない土寄せの重要性、昔ながらのレシピなど、終始笑顔でさまざまな自然の恩恵を教えてくれました。

最初はぎこちない手つきだったモニターさんたちも、中盤からは自ら野菜を選んで一人で収穫できるまでに成長！

ご近所さんに野菜をおすそわけするときに便利な古新聞のバッグ（左）と、牛乳パックを利用したスツール（右）。どちらも日常で大活躍です。

## 古着や新聞紙を活用したリメイク術 型紙も装飾もすべてオリジナル

古いきものや古紙などで洋服やバッグなどをリメイクしているお母さんは御年86歳。「古いものはとりあえずとっておくの。ボタンやレースもね。それでだいたいの寸法見て切ってミシンでタタタッて縫うだけ！」。そしてなんと、型紙も自作なのだそう。「大きめの紙を体に当ててチョキチョキ（笑）」。その素晴らしい出来栄えに、ご近所のお友達が古いきものを持ち込んできて洋服やバッグをいっしょに作ることもあるのだとか。

ほかにも、新聞紙で作ったバッグや牛乳パックで作ったスツールなど、生活に役立つアイテムを見せていただきましたが、バッグの表側にはリボン、洋服にはボタンやレースなど、どの作品にも気の利いた工夫が施されているのです。楽しみながらリメイクしている姿に心が温まりました。

## もったいないのおすそわけ！

### 矢祭町の「もったいない」を、コトラボ講座で「中継ライブ」配信

SDGsの原点ともいえる矢祭町の「もったいない」暮らし。その立役者であるお母さんたちの食にまつわる知恵を広く発信すべく、オレンジページの体験教室「コトラボ」で、矢祭町とオンラインでつなぐ講座が決定しました。

打ち合わせ中にも次々と飛び出す古きよき食の知恵。興味深かったのは、野菜の保存方法。「大根やにんじんは土の中に逆さまにして埋めるの。南風が当たらないように屋根をつけてね。生長が進まないし長もちするの」。聞いたことのない保存テクに、スタッフ一同に感動の嵐が！

そこでコトラボでは、野菜の保存方法や保存食レシピといったお母さんたちの「保存」アイディアをテーマにお届けしたいと思います。家族に安全で新鮮でおいしいものを食べてもらいたい、というみなさんに喜んでいただけるアイディアが盛りだくさんです。

### もったいない市場も開催中

東京の武蔵小山、城南信金大井・品川各支店、亀戸などを中心に開催されている「もったいない市場」。矢祭町のお母さんたちも毎月10回のペースで参加し、形や傷の影響で廃棄される野菜を中心に低価格で販売しています。コトラボとあわせて、「もったいないのおすそわけ」を市場でもお楽しみください。

矢祭町の採れたて野菜のお土産つき♪

2月18日の講座の受付はこちら！

**コトラボ講座開催日**

2022年2月18日(金)11:00～13:00
3月18日(金)11:00～13:00
※矢祭町の中継ライブ配信は12:30～13:00

矢祭町のお母さんたちの「もったいない」暮らしを「コトラボ」で開催決定。テーマは食材の「保存」です。

協力／矢祭町事業課産業グループ　☎0247-46-4576



Copyright　Japan CSV Business Development Organization

１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

協働企業：
＊JR東日本企画様（オレンジページ様）

事業の目的：
「SDGs時代の最先端の暮らし方」と評された矢祭のもったいない精神。その料理の極意、調理の工夫等、料理教室では教えてくれないの生きる力を伝える。
16名定員に対して50名以上の応募、40名以上がキャンセル待ちする人気講座になる。

WEB料理教室リハーサルの様子：矢祭町と阿佐ヶ谷(料理教室)を中継で結ぶ
2月18日・3月18日に本番実施

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

協働企業：
＊JR東日本水戸支社様

事業の目的：
東舘駅舎をコミュニティスペースとして開放。
地域力発信のモデルケースとして、駅舎をコミュニティスペースとして活用。
駅周辺再開発までの3年間を活用した、時限プロジェクト。

地元住民との協働ならびに企業連携により矢祭町活性化事業を推進する。
2022年度は受皿組織の組成等、コロナ後を見据えたサプライチェーン構築を行う予定。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# 4．主要活動状況：会員企業協働事業

## 1．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

2022 年 3 月 18 日
矢　祭　町
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

### 水郡線 東館駅に地域コミュニティ施設がオープンします！

・水郡線東館駅の駅舎内空きスペースを改装し、駅ご利用の方、観光の方などにご利用いただける「ヒガシダテ待会室」を新たにオープンします。
・さまざまな人が出会い集う場所を作りたいとの思いを込めて、「待会室」という名称としました。地域情報の発信やドリンクサービスを展開し、人と人とが触れ合う場を提供します。
・矢祭町と JR 東日本水戸支社は、「ヒガシダテ待会室」のオープンを契機に連携を強化し、さらなる地域活性化を推進します。

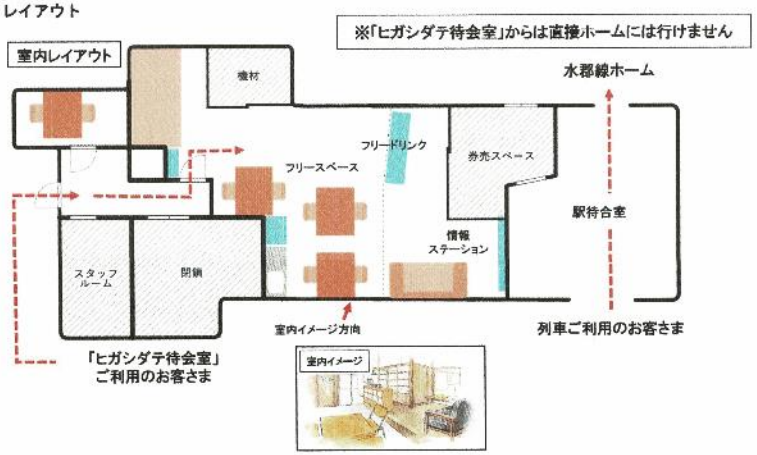
**1．概要**

(1) 開 設 日　2022 年 3 月 24 日（木）
(2) 利用時間　平日 15 時 00 分～19 時 00 分
土日 12 時 00 分～17 時 00 分
（毎週水曜・月～金の祝日は定休日）
(3) 場　　所　水郡線 東館駅舎内
(4) 名　　称　ヒガシダテ待会室
(5) 運　　営　矢祭町地域おこし協力隊
(6) 利用条件　なし（無料開放）
(7) 面　　積　41.8 ㎡
(8) 設備・サービス　地域情報の発信（壁面パネルでの情報掲示や、パンフレットを配布します）
ドリンクサービス（コーヒー、紅茶などを自由にお飲みいただけます）

東館駅舎　外観

※地域おこし協力隊とは…地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした町の組織です。
※内装・サービスなどは、オープン後順次整備していきます。

**2．レイアウト**




**3．「ヒガシダテ待会室」オープンの思い**

地域おこし協力隊は着任後、地域のさまざまな方とコミュニケーションを取りながら、どんな場所を作れば人が来てくれるのか、地域内外をつなげる役割を果たせるのか考えてきました。

JR 東日本もグループ経営ビジョンである「変革 2027」で、地元自治体との連携により駅にコミュニティ施設などを整備し、地域活性化を進めることとしています。

今回、両者の思いが合致したため、東館駅舎内において人と人とがつながる場所づくりに挑戦することとしました。

**4．今後の展開について**

「ヒガシダテ待会室」の観光情報発信スペースを活用し、JR 東日本が展開するさまざまなキャンペーンやイベントの情報発信拠点とすることで、矢祭町と JR 東日本が協力して観光流動の活性化を目指します。

また、地域の方の交流の場として駅舎をご利用いただくことで、駅と地域の人とのつながりを醸成し、地域の活性化に貢献していきます。

**5．オープン告知イメージ**

出展：JR東日本水戸支社 3/18ニュースリリース

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

協働企業：
＊日本ユニシス様　＊現社名BIPROGY株式会社

事業の目的：
LIVEKITを活用し、生産者と消費者をダイレクトに結ぶ。
WEBを通した収穫体験を行い、その場で農産品を購入できる仕組みを構築。
単なるeコマースではなく、生産者との絆を作ることでファンを生み出し、その後の人流創出につなげる。

矢祭体験モニターツアー：LIVEKITを活用した産品の販売拡大

取材風景：スマホで撮影が可能。
チャットで質問にもその場で答えられる。またスマホから購入も可能。(今回は販売は未実施)



Copyright　Japan CSV Business Development Organization

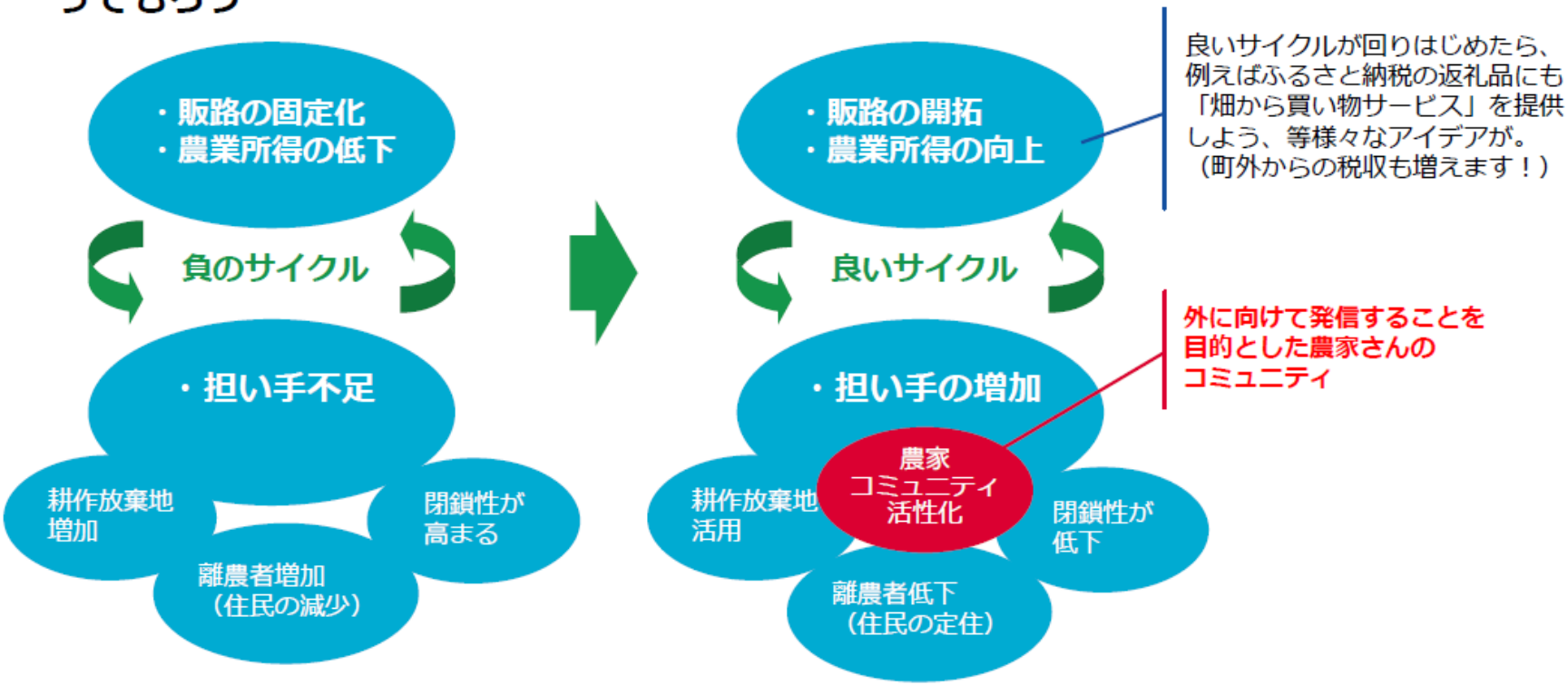
１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

## ■ 企画案：畑から買い物サービス（背景）

ただ「物（農産物）」を売るだけでなく、ライブコマースでその商品背景や矢祭町というコミュニティを表現する事で

**・外に向けての発信力を通して現在の農家さん同士の繋がり・コミュニティを活性化**

**・関係人口（矢祭ファン）を増やし、コミュニティ活性化の担い手（応援する側）となってもらう**




Copyright　Japan CSV Business Development Organization

１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

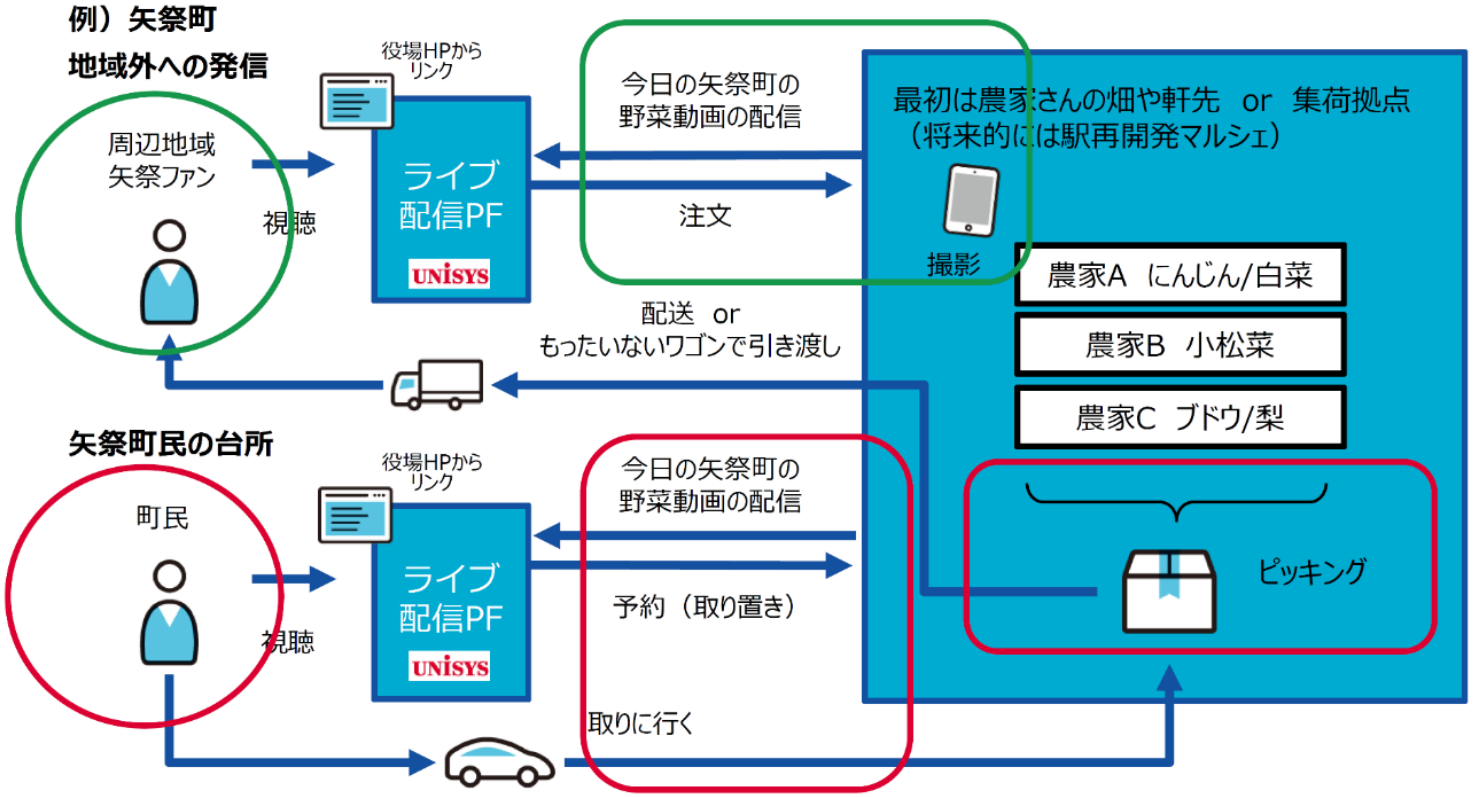
# 全体像からの今回の実証実験のスコープ

緑が9月の実証実験の範囲、今後は赤の範囲について検討していく。

## ■ 企画案：畑から買い物サービス（将来像）

WEBサイトが無くても、店舗が無くても、農家さんが売りたいものをファンの人達に向けて手軽にその日の朝に畑(や海)から配信できるサービスPFを企画しています。

**例）矢祭町**




Copyright　Japan CSV Business Development Organization

１．福島県矢祭町：まちなかコミュニティカ向上事業

上図：今回の実証ライブ配信映像(PC版)
左図：スマホによるデモ映像

「買い物カゴ」をクリックすることでその場で購入が可能。
矢祭町ならではのコミュニケーションの強さ・温かさを体感し、
顔の見える新しい関係を構築、新しい販路拡大を狙う。
魅力ある産品(セット)を作るためには、農家ネットワークを構築し、
相互補完するネットワーク(=コミュニティカ)を構築する必要がある。

買い物カゴをクリックすると
配信中の農家さんの野菜をカゴに
入れて決済することができます

Copyright Japan CSV Business Development Organization

## ２．川崎市 木材利用促進業務委託（川崎市木材利用促進フォーラム事務局運営業務他）

①普及啓発イベント「令和3年度川崎駅前優しい木のひろば」企画運営

業務目的：林産自治体と都市部の自治体および事業者が連携し、川崎市民を対象に五感を通した木に触れ親しむ体験を通じて国産木材の利用意義や使うことの必要性を伝える。

開催日時：2021年12月11日(土)10:00～17:00
開催場所：ラゾーナ川崎ルーファ広場・川崎駅北口通路・川崎駅中央西口通路

出展団体（15団体）：
秋田県　／　栃木県　／　埼玉県　／　和歌山県　／　宮崎県　／　相模原市　／
静岡市　／　浜松市　／　小田原市　／　氷見市　／　林野庁　／
(国研)森林研究・整備機構　／　株式会社内田洋行　／　ジェクト株式会社 ／
ナイス株式会社・菊池建設株式会社

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

①普及啓発イベント「令和3年度川崎駅前優しい木のひろば」企画運営

来場者数：8,045名

当日の川崎駅北口通路通行量：33,860名

事前申し込み者数：

◎カリヨン音楽絵本コンサート

定員延60組中　150組

◎クリスマスリースをつくろう

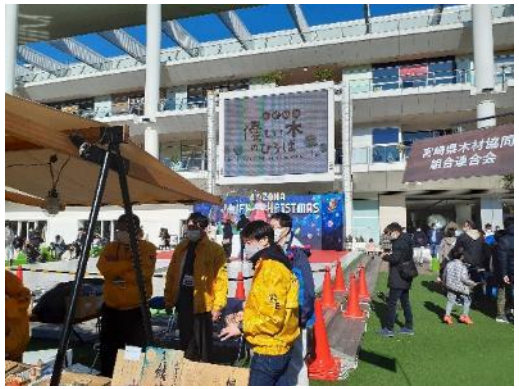
定員延50組中　285組

| | | 来場者(参加者)数 |
|---|---|---|
| 北口 | 埼玉県 | 200 |
| | 和歌山県 | 200 |
| | おだわら森林・林業・木材産業再生協議会（小田原市） | 610 |
| | 林野庁 | 200 |
| 西口通路 | 秋田県 | 200 |
| ルーファ広場 | 栃木県 | 500 |
| | 宮崎県木材協同組合連合会 | 100 |
| | さがみはら津久井産材利用拡大協議会（ＭＯＲＩＭＯ，相模原市） | 950 |
| | 静岡市 | 500 |
| | 浜松市 | 450 |
| | 一般社団法人ひみ里山杉活用協議会(氷見市) | 400 |
| | (国研)森林研究・整備機構 森林整備センター・森林保険センター | 300 |
| | 株式会社内田洋行 | 900 |
| | ジェクト株式会社・中原工房 | 400 |
| | ナイス株式会社・菊池建設株式会社 | 900 |
| | カリヨン・カンパニー(音楽絵本コンサート) | 331 受付数2 |
| | 優しい木のひろばクイズラリー | 904 |
| | 全体 | **8,045** |
| | ラゾーナエリア | 6,835 |
| | 北口通路 | 1,210 |

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

①普及啓発イベント「令和3年度川崎駅前優しい木のひろば」　実施状況



正面の大型モニターに出展団体のPRを終日放映

出展団体独自の取組みを川崎市民にアピール

メイン企画「音楽x絵本×木」
森の大切さをオリジナル絵本の読み聞かせと歌を通じて幼児から小学校低学年に気付いてもらう

福田川崎市長x林氷見市長
森林活用は川上川下の連携が必要

体験コーナーはどこも盛況

体験を通じて木の良さを感じてもらう

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

川崎市内の大工さん協力による、木製クリスマスツリーの制作見学

制作した木につけるオーナメント制作ワークショップ

木を体感する音楽絵本コンサート　カリヨン音楽絵本コンサート

木について学ぶ優しい木のひろばクイズラリー

顔はめパネル(浜松市提供)

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

木製品の商品展示（一部の展示品は購入可能）

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

川崎市福田市長視察

木に触れ親しむ空間　木製玩具などを主とした子供のあそび場空間、休憩スペース

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# ４．主要活動状況：会員企業協働事業

木製品制作ワークショップ

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

２．川崎市 木材利用促進業務委託（川崎市木材利用促進フォーラム事務局運営業務他）

## ②林産地(川上)の地方創生・関係人口創出を目指した見学会開催

**森の恵みに出会う旅**in小田原：
自然に親しむ機会のない川崎市民に対して、林産地の森林をはじめ、伝統、産業、文化に触れ親しむツアーを開催。
今年は、小田原市との協働、8月および1月に企画。

**材産地見学会：**
川崎市内の建築会社や設計士に対し、木材活用の必要性を感じていただくとともに、林産地と川下の商流を創出し、川崎市内の木造木質化を推進する見学会。今年は栃木県と協働。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

## ３．新潟県立自然科学館

①Pop up School　「畑の学校」

協働企業：＊冨山様

事業の目的：
こどもたちが社会でホンモノを体験し、他人の意見を聞き、自分の考えを伝え、みんなで一緒に考え、学びあう機会を、新潟県立自然科学館との協働で実施する。

トマト収穫体験。
美味しいトマトの見分け方、育て方を農家の方に教わります。

ぬか釜の火起こし。子どもにとってはマッチを擦ることも初めての経験！

炊きあがったコシヒカリの新米。2升があっという間になくなりました。
おかずは藻塩とおかかだけ。これでも立派なおかずになります。

トマトの宣伝作成。出来上がったPOPはピア万代「おとみさん」で実際に掲示されます。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

３．新潟県立自然科学館

## ②観光DX技術実証

協働企業：　　DGコミュニケーションズ 様

事業の目的：
新潟県立自然科学館の40周年企画で日本初の観光DX技術実証を実施。スマートフォンのマイクを利用して、特定のスポット付近に設置されたスピーカーより発する人間の耳で聞き取りにくい高周波を検知しユーザーの位置を測位し案内する。アプリDLがなく、ユーザー自身のスマートフォンを使うため、感染予防への対応策としても有効。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

3.新潟県立自然科学館

## ③大人の科学館(仮称)

協働企業：　株式会社冨山 様
　　株式会社ＪＲ東日本企画新潟支店 様

事業の目的：
新潟県内の分野を限定しない事業者が連携し、課題解決や新規事業などにおいて新潟県から新たな潮流を生み出すために新潟県立自然科学館が進める「INNOVATION lab」活動と連動して検討および実証を行う。

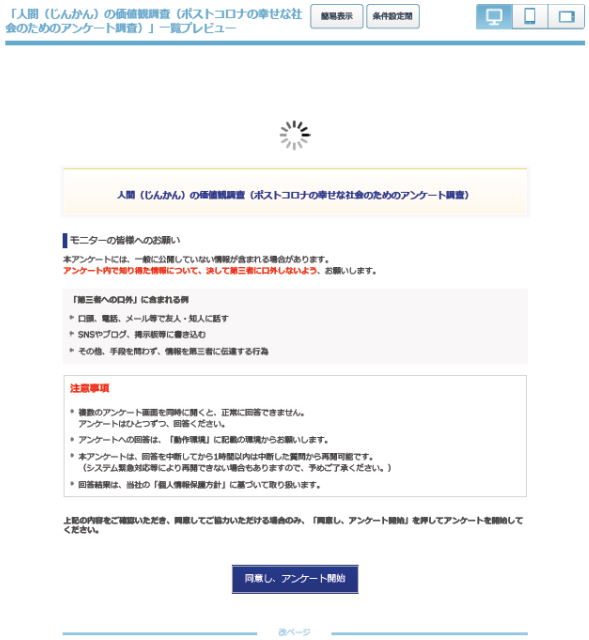
第１回：2022年2月3日（木）15:00 ～ 17:00　「顔合わせ、目標の共有　等」
第２回以降　月一回の頻度でミーティングを予定
　　「つなぐ」をキーワードとして参画事業者が新潟県活性化に向けた取組を検討する」
※4月以降はオブザーバーとして、新潟県より話題提供をいただき、
　県の取組についても説明いただく予定

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

人間（じんかん）の価値観調査（ポストコロナの幸せな社会のためのアンケート調査）
～幸せ分科会の提言を基にした事業創出のための、CSV開発機構自主調査～

協働企業：
＊サーベイリサーチセンター様

事業の目的：
◎これから求めるべく地方創生の姿は経済の創生ではなく、社会を創生する取組であるべき。
◎経済的な豊かさだけを求めない、「未来の社会」「幸福」「生きがい」を皆で考え、実践する社会そのものが、目指すべきまちの姿。




回答は、10代から60代まで同数各235件、合計1,410件。

次ページ以降のアンケート結果は自由にお使いください。
但し、外部に発表の場合は下記を順守願います。
①事前に事務局に許可を得ること
②必ず「一般社団法人CSV開発機構」のクレジットを入れること

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

# 仮称）CSVプロジェクト創出分科会

# 人間（じんかん）の価値観調査
# （ポストコロナの幸せな社会のためのアンケート調査）
# 報告資料

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 1　調査目的

コロナを経験した私たちの価値観は変化しているのではないか？
密＝悪となったことで、特に着目するのは、個人と個人の関わり、関係場面、
これを「人間＝じんかん」と呼び、その価値観を見える化する

これらを明らかにして一歩先の事業提案を行うことをCSV開発機構の強みにしたい

個人と個人の関わり　⇒　対個人・対家族・対仲間・対職場・対地域・・・

個人と個人の関係場面　⇒　日常生活・趣味・休息・仕事・社会貢献・・・

↓

人間＝じんかんには、どんな価値観があるのか？

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 2　人間(じんかん)に関する最近の動向

フィンランドは「パンデミックの最中、人命と生活を守るのに役立つ、他者との相互の信頼関係に関する複数の指標で非常に高い順位を示した」と、その幸福度の高さの秘訣(ひけつ)が「人とのつながり」だと報告
(国連「World happiness report 2021」)

75年間にわたり、約700人を追跡調査した研究でも、人の幸福度に最も影響を与えるのは「よい人間関係である」と結論づけ(ハーバード大学)

誰一人として取り残さない包摂的な社会をポストコロナの経済社会ビジョンの一つとして掲げ、生活困窮者や孤独・孤立状態にある方などに対し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かなサービスを提供する
(経済財政運営と改革の基本方針2021)

【課題認識】コロナ禍において、外出や移動など人との交流が制限されている中でも、人とのつながりを実感できている人・地域は、幸福度がさらに高まり、人とのつながりが分断され、孤独状態に陥っている人・地域では、幸福度が低下しているのではないか？⇒ポストコロナでは人とのつながりが再認識される？距離感が大事になる？

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 3　人間(じんかん)の価値観に関する仮説

人は幸せ「Well-being」を求めて生きている。その土台は良質な人間関係にある。

人と人の距離感が幸せの鍵を握る。特に孤独感は幸せに負の影響を与える。

ライフタイル(暮らし方・働き方・学び方等)に対する満足度と幸せ度はイコールにならず、今後は満足度ではなく幸せ度が重要になる。

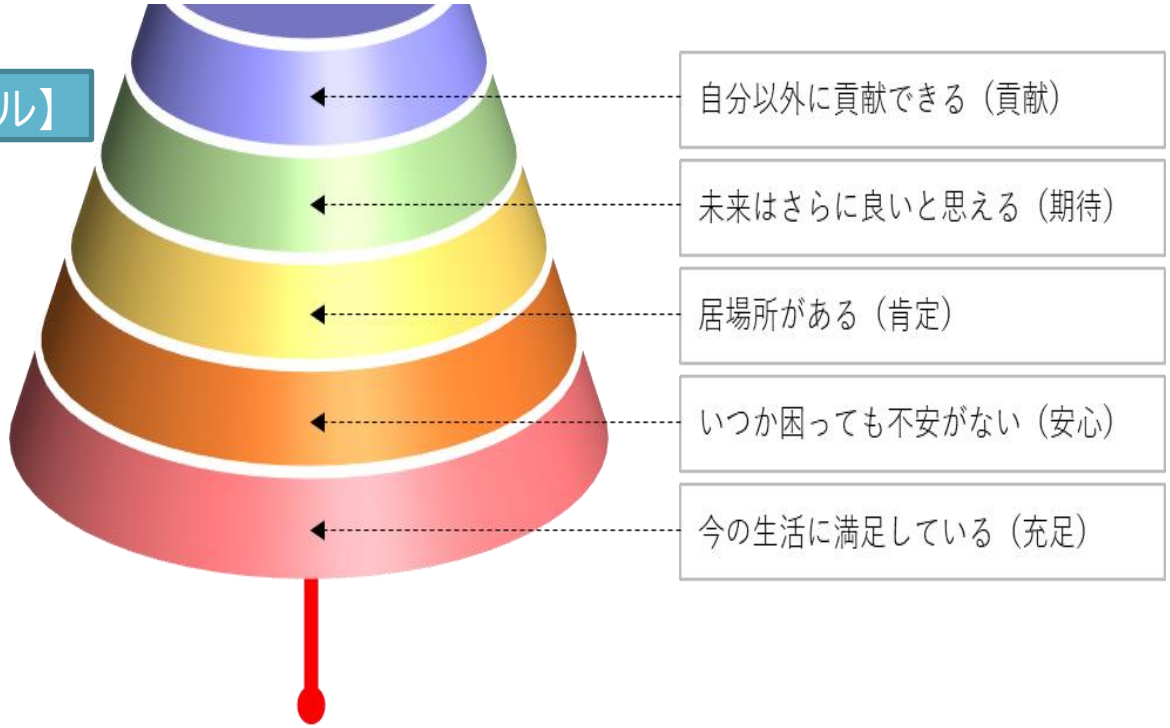
人間(じんかん)の価値観は、年代(例えば40代と50代の間)や居住地域(都市部と地方部)で差がある。

## 幸せ度が高い人は・・・

幸せ度が高い人は、孤独感が低い、一人で過ごすことが少ない、家族との会話が多い、職場や学校でコミュニケーションが取れている、心から信頼できる友がいる、近所付き合いが良好、居住地域に愛着がある、相談先がある、日常生活でも緊急時でも助けてくれる人がいる、人に親切な行動をしている、人に親切な行動をされている、ボランティア活動に参加している、自分の居場所や役割がある、自己鍛錬や自己投資をしている・・・という仮説のもと調査を実施する。

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

【幸せのファネル】




# 4　調査設計

■概要は以下のとおり

・調査対象：日本国内に居住する10代から60代の男女
・サンプルサイズ：1,410件
・調査方法：WEB調査
・調査期間：2021年8月31日～2021年9月3日（第5波で21都道府県に緊急事態宣言が発令中・1日あたり重症者最大）
・主な分析：孤独感と幸せ度の相関、幸せ度に影響を与えている項目の抽出
　　コロナを経験した人々の人間(じんかん)の距離の見える化

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 5 調査項目

・フェイスシート（性・年齢・居住地・家族構成・年収）
・孤独感尺度（UCLA・3問or10問or20問）
・ボランティア活動（参加状況・利他的行動）
・友人関係（人数・親友）
・近隣関係（付き合いの程度・居住地への愛着）
・家族関係（会話時間・団らん）
・日常関係（一人で過ごすこと・親切・被親切・相談先・援助者）
・仕事（学業）関係（テレワーク（オンライン授業）・コミュニケーション）
・公的関係（敷居の高さ）
・自己関係（自己肯定感・自己鍛錬や自己投資・コミュニケーションの方法・人間（じんかん）の距離）
・理想の社会（記述式）
・幸福尺度（0-10）、満足尺度（0-10）

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 5 調査項目

| 人間（じんかん）の価値観調査（ポストコロナの幸せな社会のためのアンケート調査） | | | |
|---|---|---|---|
| Q1 | 短文FA | | あなたの年齢をお答えください。<br>（半角数字でご記入ください） |
| Q2 | SA | | 性別を教えてください。 |
| | | 1 | 男性 |
| | | 2 | 女性 |
| | | 3 | 答えたくない |
| Q3 | SA | | 現在のお住まいの市町村での居住年数を教えてください。<br>※通算年数 |
| | | 1 | 1年未満 |
| | | 2 | 10年未満 |
| | | 3 | 20年未満 |
| | | 4 | 30年未満 |
| | | 5 | 40年未満 |
| | | 6 | 40年以上 |
| Q4 | SA | | 同居の家族構成を教えてください。 |
| | | 1 | 一人暮らし |
| | | 2 | 夫婦のみ（事実婚含む） |
| | | 3 | 2世代 |
| | | 4 | 3世代 |
| | | 5 | その他 |
| Q5 | SA | | 年収を教えてください。 |
| | | 1 | 100万円未満 |
| | | 2 | 100～200万円未満 |
| | | 3 | 200～300万円未満 |
| | | 4 | 300～400万円未満 |
| | | 5 | 400～500万円未満 |
| | | 6 | 500～600万円未満 |
| | | 7 | 600～700万円未満 |
| | | 8 | 700～800万円未満 |
| | | 9 | 800～900万円未満 |
| | | 10 | 900～1,000万円未満 |
| | | 11 | 1,000万円以上 |
| | | 12 | わからない |
| Q6 | SA | | 働き方を教えてください。 |
| | | 1 | フルタイムで就労している（育休・介護休業含む） |
| | | 2 | パート・アルバイト等で就労している（育休・介護休業含む） |
| | | 3 | 現在は就労していない |
| | | 4 | 学生 |
| | | 5 | 専業主婦・主夫 |
| | | 6 | その他 |
| (Q6＝1,2,6) | | | |
| Q7 | SA | | 職種を教えてください。 |
| | | 1 | 営業系 |
| | | 2 | 企画・マーケティング系 |
| | | 3 | 事務・管理系 |
| | | 4 | クリエイティブ系 |
| | | 5 | IT系 |
| | | 6 | 生産・製造・品質管理系 |
| | | 7 | 研究・開発・設計系 |
| | | 8 | 建築・土木系 |
| | | 9 | 金融系 |
| | | 10 | サービス・販売系 |
| | | 11 | 専門・スペシャリスト系 |
| | | 12 | その他 |

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 5 調査項目

| | | |
|---|---|---|
| Q8 | マトリクス→ | それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。<br>※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。 |
| | | 【質問アイテム】 |
| SA | 1 | 自分は周りの人たちの中になじんでいると感じますか |
| SA | 2 | 自分には人との付き合いがないと感じることがありますか |
| SA | 3 | 自分には頼れる人が誰もいないと感じることがありますか |
| SA | 4 | 自分はひとりぼっちだと感じることがありますか |
| SA | 5 | 自分は友人や仲間のグループの一員だと感じることがありますか |
| SA | 6 | 自分は周りの人たちと共通点が多いと感じることがありますか |
| SA | 7 | 自分は誰とも親しくしていないと感じることがありますか |
| SA | 8 | 自分の関心や考えは周りの人たちにはわからないと感じることがありますか |
| SA | 9 | 自分は社交的で親しみやすいと感じますか |
| SA | 10 | 自分には親しい人たちがいると感じますか |
| SA | 11 | 自分は取り残されていると感じることがありますか |
| SA | 12 | 他人との関わりは意味がないと感じることがありますか |
| SA | 13 | 自分のことを本当によく知っている人は誰もいないと感じることがありますか |
| SA | 14 | 自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか |
| SA | 15 | 希望すれば自分と気の合う仲間は見つかると感じますか |
| SA | 16 | 自分を本当に理解している人がいると感じますか |
| SA | 17 | 自分は内気であると感じますか |
| SA | 18 | 周りの人たちと一体感がもてないと感じることがありますか |
| SA | 19 | 話し相手がいると感じますか |
| SA | 20 | 頼れる人がいると感じますか |
| | | 【選択肢】 |
| | 1 | 決してない |
| | 2 | ほとんどない |
| | 3 | 時々ある |
| | 4 | 常にある |
| Q9 | SA | 過去1年、3日以上の連休の際、一人で過ごすことはありましたか。 |
| | 1 | ない |
| | 2 | 少しあった |
| | 3 | ほとんどあった |
| Q10 | SA | 1日でどのくらい家族と会話をしますか。 |
| | 1 | ほとんどない |
| | 2 | 1日30分以内 |
| | 3 | 1日1時間以内 |
| | 4 | 1日1時間30分以内 |
| | 5 | 1日2時間以内 |
| | 6 | 1日2時間より多い |
| (Q6＝1,2,4,6) | | |
| Q11 | SA | 学校や職場でコミュニケーションがとれていますか。 |
| | 1 | 学校や職場でコミュニケーションがとれている |
| | 2 | 学校や職場でコミュニケーションがとれていない |
| Q12 | 短文FA | 友達は何人いますか。<br>（半角数字でご記入ください） |
| Q13 | SA | 心から信頼できる友はいますか。 |
| | 1 | いる |
| | 2 | いない |
| Q14 | SA | 近所づきあいはどの程度ありますか。 |
| | 1 | とてもある |
| | 2 | ある |
| | 3 | あまりない |
| | 4 | ない |

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 5 調査項目

| | | | |
|---|---|---|---|
| Q15 | SA | | お住まいの地域に愛着がありますか。 |
| | | 1 | とてもある |
| | | 2 | ある |
| | | 3 | あまりない |
| | | 4 | ない |
| Q16 | SA | | 困り事や悩み事の相談先はありますか。 |
| | | 1 | ある |
| | | 2 | ない |
| Q17 | SA | | 日常生活や緊急時の困り事を助けてくれる人はいますか。 |
| | | 1 | 日常生活でも緊急時でも助けてくれる人がいる |
| | | 2 | 日常生活を助けてくれる人ならいる |
| | | 3 | 緊急時に助けてくれる人ならいる |
| | | 4 | 助けてくれる人はいない |
| Q18 | SA | | 役所役場などの、公的機関は相談しやすいですか。 |
| | | 1 | とてもしやすい |
| | | 2 | しやすい |
| | | 3 | あまりしやすくない |
| | | 4 | しやすくない |
| Q19 | SA | | 過去1年に人に、親切にされた記憶はありますか。 |
| | | 1 | ある |
| | | 2 | ない（覚えていないを含む） |
| Q20 | SA | | 過去1年に人に、親切にした記憶はありますか。 |
| | | 1 | ある |
| | | 2 | ない（覚えていないを含む） |
| Q21 | SA | | 過去1年にボランティア活動に参加しましたか。 |
| | | 1 | 定期的・継続的にボランティア活動に参加している |
| | | 2 | 定期的・継続的なボランティア活動には参加していないが、単発的なボランティア活動に参加した |
| | | 3 | ボランティア活動に興味や関心があるが、参加したことはない |
| | | 4 | ボランティア活動に興味や関心がない |
| | | 5 | その他 |
| Q22 | SA | | 自分の居場所や役割（家庭・地域・職場・学校などどこでもよい）がありますか。 |
| | | 1 | 居場所も役割もある |
| | | 2 | 居場所はあるが役割はない |
| | | 3 | 役割はあるが居場所ではない |
| | | 4 | どちらもない |
| Q23 | SA | | あなたは、テレワークやオンラインによる授業の受講をしていますか。 |
| | | 1 | している |
| | | 2 | していない（する必要がない人も含む） |
| Q24 | SA | | 自己鍛錬や自己投資（豊かな人生や充実した仕事・学業のために自分の向上を目指し、自主的に学んだりトレーニングすること）をしていますか。 |
| | | 1 | している |
| | | 2 | したいができていない |
| | | 3 | したいと思わない |
| Q25 | 短文FA | | あなたは、コミュニケーションをとりたいと思った時、どのような手段でコミュニケーションをとることが多いですか。<br>（半角数字でご記入ください）<br>※割合でお答えください。<br>※合計が100%になるようにご記入ください。 |
| | | 1 | 直接会って話す |
| | | 2 | 会わずに話をする（電話など） |
| | | 3 | 会ったり話したりせず文字や画像などを使う<br>（ラインやチャットなどのSNS、手紙、メールなど） |
| | | 4 | その他の行動 |
| | | 5 | 上記の行動をとらない<br>(コミュニケーションをとりたいと感じたが、とらなかった。など) |
| | | | 合計 |

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 5 調査項目

| | | |
|---|---|---|
| Q26 | 短文FA | 前問で「その他の行動」があると回答した方に伺います。<br>どのような手段でコミュニケーションをとりますか。 |
| Q27 | SA | あなたと一番身近な人は、気持ちの上でどのくらい離れていると思いますか。<br>※（ ）内は距離のイメージです。 |
| | 1 | 0メートル（一緒にいる） |
| | 2 | 1メートル（すぐそばにいる） |
| | 3 | 10メートル（姿は見えているが、少し離れている） |
| | 4 | 100メートル（姿は見えているが、だいぶ離れている） |
| | 5 | 1キロメートル（姿は見えないが、歩いて行ける距離にいる） |
| | 6 | 10キロメートル（同じ市区町村にいる） |
| | 7 | 100キロメートル（同じ都道府県にいる） |
| | 8 | 1,000キロメートル（同じ国内にいる） |
| | 9 | 10,000キロメートル（違う国にいる） |
| | 10 | 100,000キロメートル（違う星にいる） |
| Q28 | SA | あなたは幸せですか。 |
| | 1 | 0点（幸せではない） |
| | 2 | 1点 |
| | 3 | 2点 |
| | 4 | 3点 |
| | 5 | 4点 |
| | 6 | 5点 |
| | 7 | 6点 |
| | 8 | 7点 |
| | 9 | 8点 |
| | 10 | 9点 |
| | 11 | 10点（とても幸せだ） |
| Q29 | 短文FA | あなたの考える幸せな社会とは、どんな社会ですか。 |
| Q30 | SA | あなたは、今のライフタイル（暮らし方・働き方・学び方等）に満足していますか。 |
| | 1 | 0点（満足ではない） |
| | 2 | 1点 |
| | 3 | 2点 |
| | 4 | 3点 |
| | 5 | 4点 |
| | 6 | 5点 |
| | 7 | 6点 |
| | 8 | 7点 |
| | 9 | 8点 |
| | 10 | 9点 |
| | 11 | 10点（とても満足だ） |

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 6 回収結果

・年代と居住地域に偏りがないよう回収

問1 年齢

| 調査数 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1410<br>100 | 235<br>16.7 | 235<br>16.7 | 235<br>16.7 | 235<br>16.7 | 235<br>16.7 | 235<br>16.7 |

上段:実数
下段:%

居住地(都道府県)

| 調査数 | 北海道 | 青森県 | 岩手県 | 宮城県 | 秋田県 | 山形県 | 福島県 | 茨城県 | 栃木県 | 群馬県 | 埼玉県 | 千葉県 | 東京都 | 神奈川県 | 新潟県 | 富山県 | 石川県 | 福井県 | 山梨県 | 長野県 | 岐阜県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1410<br>100 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 |

| 静岡県 | 愛知県 | 三重県 | 滋賀県 | 京都府 | 大阪府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県 | 鳥取県 | 島根県 | 岡山県 | 広島県 | 山口県 | 徳島県 | 香川県 | 愛媛県 | 高知県 | 福岡県 | 佐賀県 | 長崎県 | 熊本県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 |

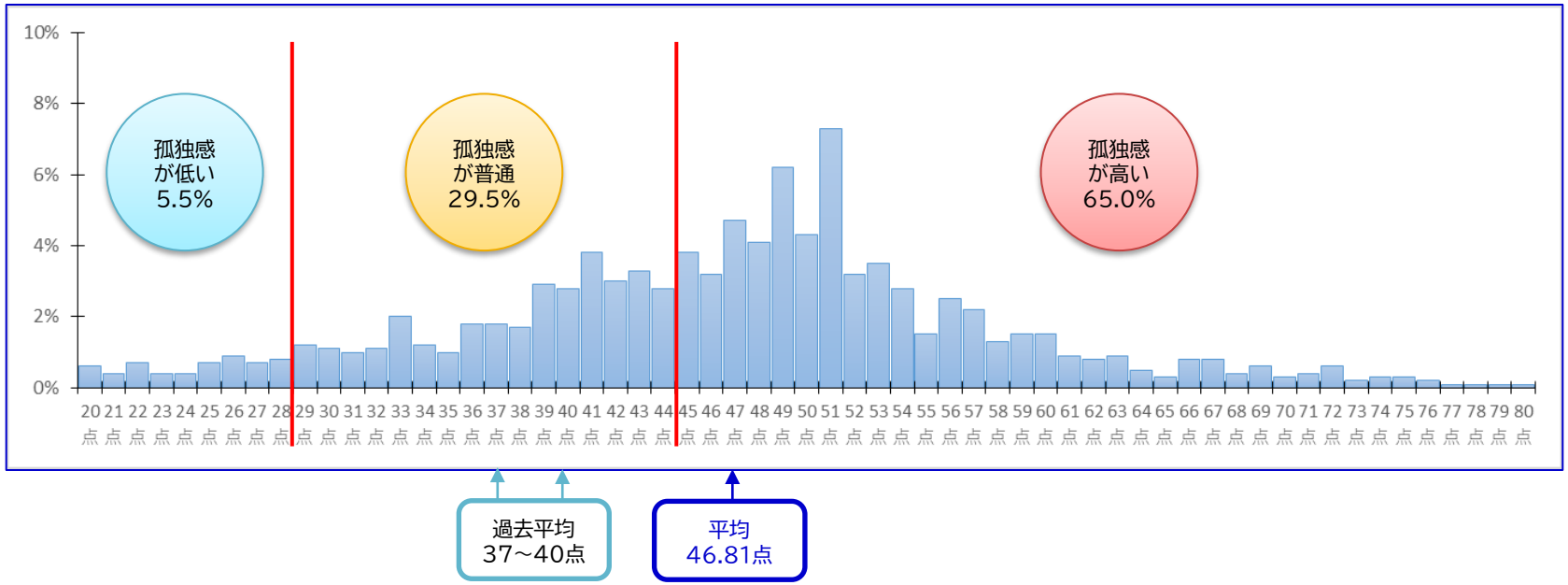
| 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 沖縄県 |
|---|---|---|---|
| 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 | 30<br>2.1 |

※小数点以下の関係で足しあげても100%にはなりません

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

・孤独感尺度得点(UCLA孤独感尺度)




約3分の2の人が「孤独感が高い」に位置付けられる

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

・満足度と幸せ度の相関

| 回帰統計 | |
|---|---|
| 重相関 R | 0.78876 |
| 重決定 R2 | 0.622142 |
| 補正 R2 | 0.621874 |
| 標準誤差 | 1.533692 |
| 観測数 | 1410 |

分散分析表

| | 自由度 | 変動 | 分散 | 観測された分散比 | 有意 F |
|---|---|---|---|---|---|
| 回帰 | 1 | 5453.052 | 5453.052 | 2318.267 | 7.4E-300 |
| 残差 | 1408 | 3311.913 | 2.352211 | | |
| 合計 | 1409 | 8764.965 | | | |

| | 係数 | 標準誤差 | t | P-値 | 下限 95% | 上限 95% | 下限 95.0% | 上限 95.0% |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 切片 | 2.154898 | 0.101047 | 21.32577 | 1.13E-87 | 1.95668 | 2.353117 | 1.95668 | 2.353117 |
| IQ29 | 0.770361 | 0.016 | 48.14838 | 7.4E-300 | 0.738975 | 0.801747 | 0.738975 | 0.801747 |

決定係数(補正R2)が0.6を超え、満足度と幸せ度は、正の強い相関がある

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

・孤独感と幸せ度の相関

| 回帰統計 | |
|---|---|
| 重相関 R | 0.554241 |
| 重決定 R2 | 0.307184 |
| 補正 R2 | 0.306692 |
| 標準誤差 | 2.076743 |
| 観測数 | 1410 |

分散分析表

| | 自由度 | 変動 | 分散 | 観測された分散比 | 有意 F |
|---|---|---|---|---|---|
| 回帰 | 1 | 2692.454 | 2692.454 | 624.2845 | 2.4E-114 |
| 残差 | 1408 | 6072.512 | 4.312863 | | |
| 合計 | 1409 | 8764.965 | | | |

| | 係数 | 標準誤差 | t | P-値 | 下限 95% | 上限 95% | 下限 95.0% | 上限 95.0% |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 切片 | 12.66438 | 0.248742 | 50.91372 | 0 | 12.17644 | 13.15233 | 12.17644 | 13.15233 |
| ILONELY | -0.12944 | 0.00518 | -24.9857 | 2.4E-114 | -0.1396 | -0.11927 | -0.1396 | -0.11927 |

決定係数(補正R2)は0.3で、孤独感と幸せ度には相関がみられた

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

## ・相関関係の検証

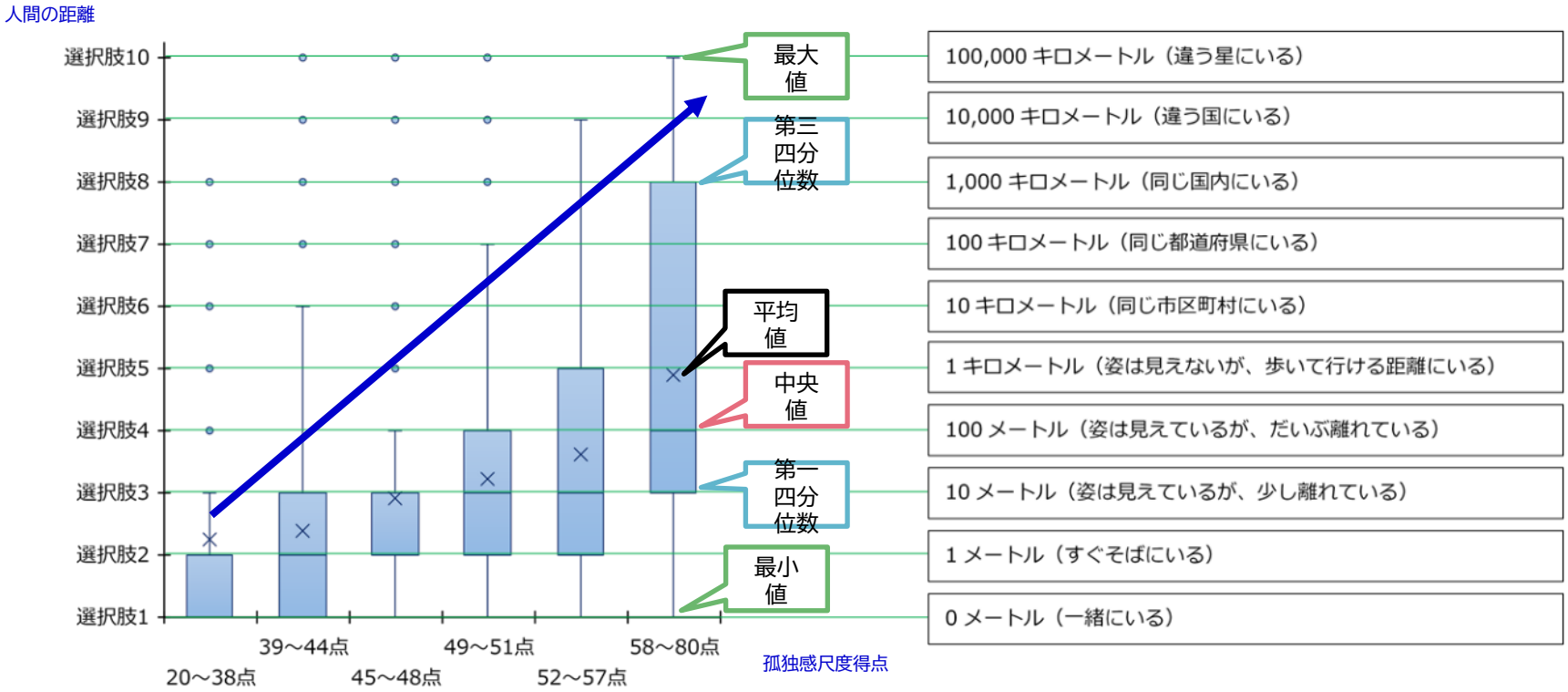
| | | r値 | p値 |
|---|---|---|---|
| 問27 幸せ度(点) | 問29 満足度(点) | 0.788760 | 7.4107E-300 |
| 問19 過去1年に人に、親切にされた記憶はあるか | 問20 過去1年に人に、親切にした記憶はあるか | 0.577362 | 3.9009E-126 |
| 問8 孤独感尺度得点 | 問27 幸せ度(点) | -0.554241 | 2.3898E-114 |
| 問16 困り事や悩み事の相談先の有無 | 問17 日常生活や緊急時の困り事を助けてくれる人はいるか | 0.532713 | 3.5603E-104 |
| 問13 心から信頼できる友の有無 | 問8 孤独感尺度得点 | 0.503934 | 1.12987E-91 |
| 問8 孤独感尺度得点 | 問29 満足度(点) | -0.497570 | 4.56611E-89 |
| 問16 困り事や悩み事の相談先の有無 | 問8 孤独感尺度得点 | 0.497562 | 4.598E-89 |
| 問17 日常生活や緊急時の困り事を助けてくれる人はいるか | 問8 孤独感尺度得点 | 0.491612 | 1.1229E-86 |
| 問14 近所づきあいの程度 | 問15 居住地域への愛着の有無 | 0.466429 | 4.4527E-77 |

孤独感と幸せ度には負の相関、近所づきあいと地域への愛着には正の相関がある

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

・コロナを経験した人々の人間(じんかん)の距離の見える化




孤独感の低い人ほど、一番身近な人との気持ち上の距離が近い

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

・満足度よりも幸せ度を高く回答した人たちの傾向
（幸せ度のほうが高い人45.2%、幸せ度と満足度が同じ人44.3%、満足度のほうが高い人10.5%）

・過去1年、3日以上の連休の際、一人で過ごした経験が「ない」50.9%（35.8%）
・1日のうち家族と会話する時間が「2時間より多い」31.2%（15.5%）
・学校や職場でコミュニケーションが「取れている」**80.8%**（72.2%）
・心から信頼できる友が「いる」73.9%（60.1%）
・困り事や悩み事の相談先が「ある」68.8%（57.4%）
・過去1年に、人に親切にされた記憶が「ある」**80.4%**（61.5%）
・自分の居場所や役割が「ある」70.2%（57.4%）
・一番身近な人との気持ち上の距離が「0メートル（一緒にいる）」23.4%（14.9%）
・一番身近な人との気持ち上の距離が「1メートル（すぐそばにいる）」37.0%（25.7%）
・一番身近な人との気持ち上の距離が「0メートル～1メートル」60.4%（40.6%）
・幸せ度の平均が7.24点（5.13点）
・満足度の平均が5.06点（6.62点）

コミュニケーション量が多い・人間（じんかん）の距離が近い

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 7 分析結果

・幸せ度が高い人たちの回答傾向

| 選択項目 | 幸せ度(平均) |
|---|---|
| 孤独感が低い | 9.05 |
| 公的機関は相談しやすい | 8.39 |
| 近所付き合いが良好 | 8.03 |
| 居住地域に愛着がある | 7.84 |
| 友人の数が多い | 7.83 |
| 家族との会話が多い | 7.79 |
| ボランティア活動に参加している | 7.63 |
| 日常生活でも緊急時でも助けてくれる人がいる | 7.55 |
| 自分の居場所や役割がある | 7.37 |
| 相談先がある | 7.33 |

孤独感が低い人たちの幸せ度は、10点満点で9点を超える

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 8 仮説検証（人間（じんかん）の価値観）

◎ 人と人の距離感が幸せの鍵を握る。特に孤独感は幸せに負の影響を与える。
⇒ 孤独感の低い人の9割以上が幸せ度は8点以上（平均9点） 孤独感と幸せ度には負の相関

◎ ライフタイル（暮らし方・働き方・学び方等）に対する満足度と幸せ度はイコールにならない。これからは満足度よりも幸せ度が重要になる。
⇒ 幸せ度のほうが高い人45.2%、幸せ度＝満足度44.3%、満足度のほうが高い人10.5%

× 人間（じんかん）の価値観は、年代（40代と50代の間）や居住地域（都市部と地方部）で
差がある。
⇒ 性別、年代、居住地域、コミュニケーション手段のほか、職業や年収別にみても差がみられない

△ 人は幸せ「Well-being」を求めて生きている。その土台は良質な人間関係にある。

人間（じんかん）には、人と人との距離感、孤独感、幸せ度などの価値観があった

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 9 調査分析結果の総括

①コロナを経験した人々は、約3分の2が「孤独感が高い」に位置付けられる衝撃的結果となった
⇒ 結果的に、女性の自死、小学生の不登校、孤独死などの増加につながっていると考えられる

②孤独感は人間(じんかん)の距離と負の相関関係にあることがわかった
③人間(じんかん)の距離は短いほうが幸せ度は高い結果となった

④「幸せ度＝満足度」とはならず、「幸せ度≧満足度」となる人が大半を占めた
⑤「幸せ度＞満足度」の人たちは、コミュニケーション量が多く、人間(じんかん)の距離が近いことがわかった

⑥こうした傾向(上記①～⑤)は全般的に、性別、年代、居住地域、コミュニケーション手段のほか、職業や年収別にみても差がみられなかった

⑦今回の調査では、人間(じんかん)の距離を「一番身近な人との気持ち上の距離」と捉えて見える化してみたところ、孤独感尺度得点ときれいな相関をみせた
⇒ 人間(じんかん)の距離を測るには適切な軸と考えられる
「一番身近な人との気持ち上の距離」を深堀り(身近な人とは誰を想起するのか、その人との関係、その人の年齢、コミュニケーション頻度…)することで、さらなる発見があるかもしれない

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 10 考察

・今回の調査結果を読み解くと・・・

★コロナを経験した人々は、約3分の2が「孤独感が高い」に位置付けられる衝撃的結果となった
・コロナウイルスの蔓延によって、人間(じんかん)の価値観は大きなダメージ(破壊)を受けたと思われる
・これまでの社会における人間(じんかん)の価値観はリセットされたのではないか。
・既に、仕事やお金で未来を選ぶ考え方から、生き方(何を大切にするか)で未来を選ぶ考え方への変化の兆しが見えていた
・関係性をつくることにお金を払う時代、人とのつながりをいかにつむぎなおすか、再構築するかが鍵

★孤独感を低く抑え、「一番身近な人との気持ち上の距離」を近づけることで、幸せ度が高まると分かった
・大きな傾向としてはそうだが、ただ人間(じんかん)の距離が縮まればよいわけではないし、急激に密接な関係は作られない、よって、「適度な距離感」という発想も必要ではないか(正体はつかめていない)
・そこには共通の価値観が必要で、その価値観に共鳴する集団、いわば「価値観人口」の獲得が自治体にも企業にも求められるのではないか
・その価値観から外れてしまう人たちのためにも、ソーシャルキャピタル(社会関係資本)の重要性が高まっていると考えられる
・自治体や企業は、既に持っている価値や、今後目指そうとしている価値を明確に示し、改めてPRしていくことが求められるのではないか

・CSV開発機構としては、「つながり」、「絆」、「協働」、「共創」、「関係人口」、「ソーシャルキャピタル」、「チームビルディング」などをキーワードとして、孤独感を低く抑え、「一番身近な人との気持ち上の距離」を近づける事業を展開していくことで、一歩先の事業提案ができるのではないか

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

# 10 考察

★孤独感が低い人は幸せを感じながら生活している＝孤独感が低い人の9割以上が幸せ度は8点以上

幸せに生きる(孤独を感じない)ための必要な要素(暮らし方)・・・孤独感は主観(人による)
- ・学校や職場でコミュニケーションが取れている(幸せ度を満足度より高く回答した人の8割以上)
- ・過去1年に、人に親切にされた記憶がある(幸せ度を満足度より高く回答した人の8割以上)
- ・1人の時間も大事・人により異なる適度な距離感・放置しない

★孤独感を低く抑え、「一番身近な人との気持ち上の距離」を近づけるためのヒント
- ・重層的なソーシャルキャピタル ⇒ 制度の隙間を埋める取り組み、幼⇒小、発達障害、不登校・・・
- ・居場所の創出や役割の分担 ⇒ 誰一人取り残さないSDGs的な取り組み、デジタル授業・・・
- ・小さな親切があふれる社会 ⇒ 挨拶や声掛け、おもてなし、親切心を生む環境(木材利用)・・・
- ・一番身近な人と接する時間の拡大 ⇒ 働き方、サテライトオフィス、居住地選択、移動時間の短縮・・・

END

©2021 SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD